

に創設した未来共創科学研究本部を中心、各部門の専門人材が協働して外部資金獲得や国際発信などの支援を行い、一層の研究力強化を図ります。

〈社会・産学連携〉

第三に社会・産学連携です。

地域社会との共生は、教育、研究とともに大学の大きな使命と考えています。Town & Gown構想に基づき、大学の素晴らしい人材と地域をしっかりと結び、イノベーションを創出して豊かなまちづくりに貢献してまいります。

広島地域を中心に新たなビジネスモデルや付加価値の創出を図り、地域経済の活性化に貢献するために、本学主導の次世代型産学官金連携支援コンソーシアム「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」を一昨年10月に立ち上げました。今月から学内の産学連携体制を見直し、オープンイノベーション事業本部に産学連携推進部、地域連携部門、知的財産部を取り込み、新たに「オープンイノベーション本部」として体制強化を図っていきます。

また、広島大学「カーボンニュートラル×スマートキャンパス宣言」の実現に向けた取組を推進します。さらに「Town & Gown」構想の取組を東広島市だけでなく呉市や広島市などの他の自治体にも広げていきます。

外部資金の獲得に向けては、私を含め役員が企業や自治体に出向き、大型の寄附をお願いしているところです。その結果、広島市から10億円、東広島市から5億円、株式会社サタケから5億円のご寄附をいただくことができました。共同研究、共同研究講座、寄附講座、寄附金などの拡大により、大学機能の充実を図ります。

〈大学改革〉

第四の柱は大学改革です。改革のための改革を排除し、何のための大学改革であるのかを常に考えながら、皆さんと共に一歩一歩前進してきました。

と自負しています。平成28年4月に全学的な教員組織「学術院」を設置し、同規模大学では初めて人事の全学一元化を図り、未来に向けて大学が取り組むべき分野に人員を適切に配置できるようになりました。マネジメント改革も含め、現在そして未来の学生や教職員にとって必要なことは、構成員と執行部一体で方向性を定め、取り組んでいかなければならないと思っています。

大学の機能を最大限に発揮できるよう、財源の多様化や教職協働体制の充実により安定した経営基盤を構築します。「教職員全員がビジョンを共有し、それぞれの役割を果たす一体感のある体制になっているか」「多様な学生・教職員にとつて学びがい・働きのいい環境であるか」を絶えず問い直し、学生の学修成果や教職員のクオリティオブライフを高めてまいります。

附属学校については、STEM教育の推進等の先導的な実験のカリキュラムにチャレンジするなど、初等・中等・高等教育を包括した教育改革を牽引できるよう機能の充実に取り組んでいます。

広報活動の強化によつて、広島大学の実力が少しずつ全国に知られるようになってきました。今後も国内外に積極的に発信してまいります。

〈G7広島サミット〉

5月19日から21日まで、G7広島サミットが開催されます。主要7か国首脳が被爆地で平和への思いを共有し、「核兵器のない世界」の実現に向けた歩みが始まることを切に願っております。広島大学としても、しっかりと使命を果たしてまいりたいと思っています。

その一環として今月15日、国内外の専門家が広島市に集うG7広島サミット記念シンポジウム「核兵器のない世界に向けて―安全への道筋は」に特別協力いたします。

22日には株式会社サタケに特別協賛いただき、「食料の量・質の担保と生物

多様性維持の両立は可能か？」をテーマに食料安全保障シンポジウムを主催いたします。

さらに25日、27日には「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)が主催し、広島大学が共催・共同実施する広島G7ユースサミットが東広島キャンパスを主会場に実施されます。世界の若者や学生が核兵器の非人道性を学び、次世代の平和の担い手を育成する機会にしたいと考えています。

〈75+75周年〉

広島大学の開学75周年、最も古い前身校創設から150周年が、来年に迫ってきました。この節目を「第三の開学」と捉え、名実ともに中四国を代表する総合研究大学として一層羽ばたいていかなければなりません。

今月から来月11月までの間に実施する周年事業には同窓生や地域、企業の方々にも参加いただき、実りある取組を実施してまいります。構成員の皆さんのご協力をお願いいたします。

〈おわりに〉

19世紀イギリスの哲学者J.S.ミルは、次のように述べています。「大学が道徳的あるいは宗教的影響を学生に及ぼすことができるものならば、それは特定な教育によるのではなく、大学全体にみちみっている気風によるのです」

私は、執行部と構成員の皆さんとの不断のコミュニケーションこそが、大学を育む原動力であると確信しています。学長メッセージや部局訪問などの場を通じて、構成員の皆さんの思いをしっかりと汲み取りながら、私自身も「広島大学のために何ができるか」を常に問い直し、迅速かつ最適な大学運営に努めていく覚悟です。

100年後にも世界で光り輝く広島大学を目指して、共に力を合わせていきたいと思います。

役員		上席副学長		副理事		業務執行組織	
学長	越智 光夫	工藤 美樹	病院担当	林 光緒	教育企画担当	総戦略室	
(兼) 副学長 理事	鈴木由美子	小澤孝一郎	全学共通教育担当	由井 義通	附属学校担当	グローバル化推進室	
	金子 慎治	岩永 誠	学生支援担当	堀田 泰司	SGU担当	基金室	
	菅田 淳	丸山 恭司	国際交流・日本語教育担当	迫田久美子	日本語教育担当	監査室・監事支援室	
	津賀 一弘	川島 優子	図書館担当	紀宗 一彦	キャンパス国際化担当	教育室	
	田中 純子	田原 栄俊	産学連携担当	小池 剛正	国際交流担当		
	八田 和嗣	大段 秀樹	研究開発担当	坂口 伸生	国際拠点担当		
	信末 一之 (非常勤)	神谷 研二	復興支援・被災く医療担当	安達 和博	研究企画担当	国際室	
	新延 聡子 (非常勤)	渡辺 健次	情報・IR担当	草原 伸二	研究倫理担当		
	栗栖 長典	犬丸 啓	学術院担当	大久保孝昭	産学連携担当		
	野上 智行 (非常勤)	石田 洋子	ダイバーシティ担当	今田健太郎	法務担当	学術・社会連携室	
学長参与		新福 洋子	国際広報担当	山川 和義	人事制度担当		
学長補佐		小林 信一	人間社会科学担当	難波 博孝	コミュニケーション担当		
学長特命補佐		高田十志和	先進理工系科学担当	部長等		医療政策室	
土肥 博雄		嶋田 一夫	統合生命科学担当	長谷川博文	教育部長		
竹内 哲弘		丸山 博文	医系科学担当	部英 智	国際部長		
				塩津 典子	研究戦略部長	財務・総務室	
				豊田 崇史	産学連携部長		
				多田 稔	地域連携部長		
				横原 晃二	参事(地域連携担当)	部局長室 運営支援部	
				南 宏輔	知的財産部長		
				佐々木隆司	学術・社会連携支援部長		
				村上 健治	図書館部長	部局長室 運営支援部	
				新本陽一郎	病院運営支援部長 (兼) 医療政策部長		
				倉本 光正	財務部長		
				加藤 圭治	施設部長	部局長室 運営支援部	
				西村 浩二	情報部長		
				河村 敦	人事部長		
				山下 洋一	総務・広報部長	部局長室 運営支援部	
				青木 俊次	参事(広報担当)		
				千野 信浩	東京オフィス所長		
				畑尾 武海	基金室長	部局長室 運営支援部	
				原 準一	東広島地区運営支援部長		
				寺田 美樹	露地区運営支援部長		

令和5年度 広島大学運営体制